



たなか

田中 まどか

来年度、また上がる！？
国民健康保険税は重すぎる！

県の国保運営方針に対する市の見解は

答弁 方針に基づき持続可能で安定的な運営を図る

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 国民健康保険の加入者は、数が減っている上、高齢構成が高く、平均所得が200万円以下、約40%が無職で担税力の弱い人が多いにもかかわらず税額は毎年上がっており、負担が重い。しかし県はさらに税率を上げ、一般会計からの補てんをゼロにしろと言う。県の方針に対する市の見解は。

答 県の方針に基づいた運営を図っていく。また、全国の関係者が国に対し制度の改善に向けた陳情を行っており、その動向を注視していく。

認知症になっても安心して住めるまちへ

問 今年6月に成立した「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」への市の対応は。

答 今後策定される国や県による「認知症施策推進基本計画」を踏まえ、調査研究する。

問 認知症の人が事故や火災を起こした時のために、市が契約者となって民間の個人賠償責任保険を導入する考えは。

答 導入している自治体が60以上あるが、現時点では導入の考えはない。情報収集を続ける。

問 認知症になっても安心して暮らせるまちを目指すための条例を制定する考えは。

答 条例を制定している自治体は21あるが、県内ではまだない。近隣市町の動向を確認しながら条例の必要性を調査研究していく。



おおさわ ひろゆき

大澤 博行

高麗川小・中学校プールと市民
プールの3施設を1つに集約

市民プールをリニューアルした狙いは

答弁 改修費用や維持管理費等のコスト削減

動画で一般質問を
ご覧いただけます



問 公共施設再編計画に基づき実施し、リニューアルした市民プールの特色は。

答 50メートルプールを水深の異なる3種類のプールに。暑さ対策としてプールサイドに遮熱シートや日除けを設置。安全対策として施設外周に目隠し用のフェンスや障がい者の方も利用しやすいスロープを設置。

問 リニューアルされた市民プールを授業で利用した児童生徒・教職員の感想は。

答 小学校の児童からは「浅いプールと深いプールがあり、のびのびと泳ぐことができた」
中学校の生徒からは「25メートルプールのように

な折り返しがなく泳ぎやすい」といった好意的な感想が多い一方、中学校では移動距離が長くなり移動が大変という声も挙がっている。

教職員の反応としては、プール槽がエリア分けされており、グループ活動がしやすい点やプール全体を見渡せ、指導や安全面での効果があるなどの利点が挙がっている。また、水量・水温・水質等の管理業務がなくなり、負担軽減につながっている。



—昨年リニューアルされた市民プール